

# 地質ニュース

昭和 54 年 12 月

第 304 号

1979

## 特集

### 海洋底をさぐる 54 年

海洋地質部の最近の研究概要……………大町 北一郎…6

日本周辺海域の海洋地質調査活動……………井上 英二…10  
昭和54年度の白嶺丸による調査航海……………石原 実

白嶺丸 GH79-L 航海の記録—深海底鉱物資源……………水野 行郎…28  
探査に関する基礎的研究 昭和53年度研究航海……………正宮 西野 旗 昭 児 繁 幸  
西野 寺 公 賢  
小 野 木 橋

地質部地質標本課の発足……………猪木 幸男…53

## トピックス

阿蘇火山の爆発—1979年9月6日—……………小野 晃 司…54  
下 渡 川 辺 浩 一 徳

## 国際会議

「中小鉱山の将来 (Future of Small Scale Mining)」  
国連 UNITAR とメキシコ政府共催……………竹田 英夫…60

北海道周辺日本海及びオホーツク海域広域地質図……………玉木 賢 策…64  
西 村 清 人  
本 座 栄 一

地質ニュース総目次 (No. 293—304) 1979年……………65

## 目録

マンガン団塊の研究……………木野 篤行

## 編集 地質調査所

### 表紙の写真

### 白嶺丸船尾甲板上の作業

中部太平洋のマンガン団塊の調査航海における状況である。予定された探泥点に船が到着すると速力を落とし、ただちにエアガン、ハイドロホン及びプロトン磁力計センサーの揚収が行われ(写真左)。同時にフリーホールサンプラーの投入準備が開始される。2個ないし4個のフリーホールサンプラーは20kgの錘りを2つ付け数分毎に1個ずつ投入5,000mの海底に沈んで行き、写真撮影とサンプルを採取して約2時間後に浮上する。波浪高くローリングやピッチングのはげしい動揺になやまされながらの作業はきびしい(本文参照)

(写真・文とも 正井義郎)

発行 株式会社 実業公報社